

## 晩春の奥三河

(2010年05月01,02日 (晴天) 奥三河某所)

だいぶ暖かくなってきたので、ゴールデンウィークを利用して1泊で奥三河を散策しました。日差しと風が気持ちよく、初夏を思わせるほどの温暖さでした。

はじめは奥三河に入る前に東三河某所の里山に寄り道しました。ここでは昨年キンランの自生を確認しており、満開を期待してカメラ片手に山登りです。

標高は200m程度の丘のような小山ですが、少し開けた場所にササが生い茂っており、その中のところどころで輝く黄色のキンランを見ることが出来ました。その他春を告げるハルリンドウの鮮やかな青が斜面いっぱい広がっていたのが大変印象に残りました。

ただ、山に向かう国道沿いのお土産やさんで堂々と「キンラン1000円」と書いて盗掘株が売られていてすごく気持ちが沈んでしまいました。。。やはり勝手に生えている花を盗って売ることでは罪悪感なんて感じない方も多いようです(泣)



キンラン



ハルリンドウ

その他にもいろいろ寄り道をしながらのんびりと奥三河を目指しました。うっそうとした杉林の中を歩くこと20分、ジエビネの大株をたった1塊だけ発見することができました。いまがちょうど満開でベストタイミングでした。本来群生していることが多いジエビネがこの1塊だけということは、偶然飛んできた種子がここで発芽したものか、かつて大量に盗り尽くされ、何年もたってバックバルブから芽吹き成長したものかは分かりませんが、エビネの自生地など現在では極めて貴重な場所であり、なんとかがんばって生き残り増えてほしいと願ってやみません。

このほかにこの杉林ではウラシマソウやヤブレガサ、チゴユリ、ホウチャクソウ、ヤマジノテンナンショウなど春を告げる野草に出会うことができました。



ジエビネ



チゴユリ





イチヨウラン

一日目は奥三河の祖父母宅に宿泊し、本格的な散策は二日目からにしました。朝霧が立ち込める7時頃から散策スタートです。まずは、「この時期ならば開花が期待できるであろう」様々なポイントへ行ってみました。

標高500m付近のやや高地でイチヨウランを捜しました。確認できたのは6株程度でそのうち1輪だけは立派に開花していました。その他はまだまだ硬い蕾でしたので、まるで自分が来るのに合わせて咲いてくれたようで大変感動しました。

次に自然遊歩道を下りコアツモリソウを見てきました。これも花の時期にはかなり早かったようで、どれも小さな蕾でした。それでも根気よく探していたら、これまたたった1輪だけ全開の固体に出会うことが出来ました。今日は運が良いです。



コアツモリソウ



クマガイソウ



コケイラン



カヤラン

今回はイチヨウランを初め数々の蘭の花を撮影することができました。ただし一番の目的であったイワチドリは必死の捜索にもかかわらず1芽も確認できませんでした。冷たい溪流を何度も渡りくまなく探したのですが。。。もう愛知県では絶滅してしまったのかもしれませんが。いつか岸壁に咲き誇るイワチドリに出会いたいと夢見ております。

いい時期ですので皆さんも時間を見つけてご近所の野山を散策してみてもはいかがでしょうか。ご意見、ご感想もお待ちしておりますので御気軽にご連絡下さい。